

第2回 会社：2025年度下期の数字を見て総合的に判断するが、人的投資は大切であると考えている。 交渉 組合：昨年度決算は黒字化を達成した！社員と家族の生活改善にしっかり応えるべきだ！

「2026年夏期手当に関する申入れ」の第2回交渉が行われ、営業からの収入動向および営業成績の説明を受け、団体交渉を行った。

組合からは「計画に対し減収しているものの、対前年実績では上回っている状況である。2026年賃金引上げでは4,100円を回答しているが、この間の物価上昇は毎年3%前後の上昇率となっている中で生活改善には程遠く、社員の生活は非常に厳しい状況であることは趣旨説明で触れた」と主張してきた。

会社は「2025年度上期実績では1億円の赤字となった。2025年度決算では経常利益は300万円の経常黒字であり、2025年度下期だけを見れば1億円の黒字となっている。その実績をもとに判断することになるが、会社はその実績だけを基準にするわけではなく、日々の安全輸送にご尽力いただいている社員の頑張りもあり、総合的に判断したい」との回答に留まった。

組合は「夏季手当は他労組も3ヶ月に近い要求であり、それが社員の切実な要求である。日々、安全輸送に尽力する社員に対し社員の期待に応えることが必要不可欠であり、それで社員は報われ離職防止につながる。連結・単体ともに5年ぶりに黒字になったことから、3.0ヶ月の要求に応えることを強く指摘する」と主張し、2回目の交渉を終了した。

歴史的な物価高に苦しむ社員の生活改善を求める！

5年ぶりの黒字決算は社員の頑張りの結果であり、満額回答を行うことが社員の生活改善を実現し、モチベーション向上につながることは誰の目から見ても明らかである。

近年激甚化する自然災害や、日々発生する輸送障害をはじめとした大幅遅延への対応に最大限の努力で貨物会社社員、関連会社社員は応えてきている。貨物会社グループ内で働く社員の厳しい生活実態を踏まえ、関連会社を含めた全ての社員が納得のいく夏季手当の勝ち取るため奮闘しなければならない。

要求の実現に向け

国労と共に声を上げよう！



ベア4,100円実施だけでは生活は改善されない！
今こそ、要求に応え社員・家族の生活改善を！
次回第3回交渉6月8日(予定)

国鉄労働組合全国貨物協議会